

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

p-オクチルフェノールの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

### 試験番号

7 B 7 3 6 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 201 「藻類生長阻害試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: p-オクチルフェノール
- 2) 暴露方式: 止水式, 振とう培養 (100rpm)
- 3) 供試生物: *Selenastrum capricornutum* (ATCC22662)
- 4) 暴露期間: 72時間
- 5) 試験濃度 (設定値): 対照区, 助剤対照区, 0.050, 0.080, 0.140, 0.220, 0.370, 0.600, 1.00 mg/L (公比: 1.7, 助剤濃度一定: 10mg/L, ジメチルホルムジアンおよび HCO-40使用)
- 6) 試験液量: 100 mL (OECD培地)
- 7) 連数: 3 容器/濃度区
- 8) 初期細胞濃度:  $1 \times 10^4$  cells/mL
- 9) 試験温度:  $23 \pm 2$  °C
- 10) 照明: 4000~5000 lux (連続照明)
- 11) 被験物質の分析: HPLC法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

各試験液の濃度は開始時において設定値の±20%以内であったため、下記の生長阻害濃度の算出には設定値を採用した。なお、暴露72時間後の設定値に対する割合は4～69 %であった。被験物質は揮発性が低いため、濃度減少の主な原因は藻類への移行ではないかと思われた。

### 2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 EbC50(0-72) : 0.185 mg/L (95%信頼区間 : 0.129～0.266 mg/L)

無影響濃度 NOECb(0-72) : 0.050 mg/L

### 3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50(24-48) : 0.392 mg/L (95%信頼区間 : 0.298～0.514 mg/L)

無影響濃度 NOECr(24-48) : 0.220 mg/L

50%生長阻害濃度 ErC50(24-72) : 0.383 mg/L (95%信頼区間 : 0.346～0.425 mg/L)

無影響濃度 NOECr(24-72) : 0.220 mg/L